

令和3年4月28日～5月9日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和3年度第1報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

この期間の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、常に「ほぼ安全」を示す21未満となりました。6都市の10年間平均値と比較すると、前半は4近く低くなる日もありましたが、後半は1以上高くなる日もありました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、那覇で5日以降「嚴重警戒」を示す28以上となる日が続きました(表1、表2参照)。

全国を見ると、東北地方から九州南部・奄美地方にかけては、「注意」を示す21以上となる日もあり、沖縄地方では28以上となる日がありました。

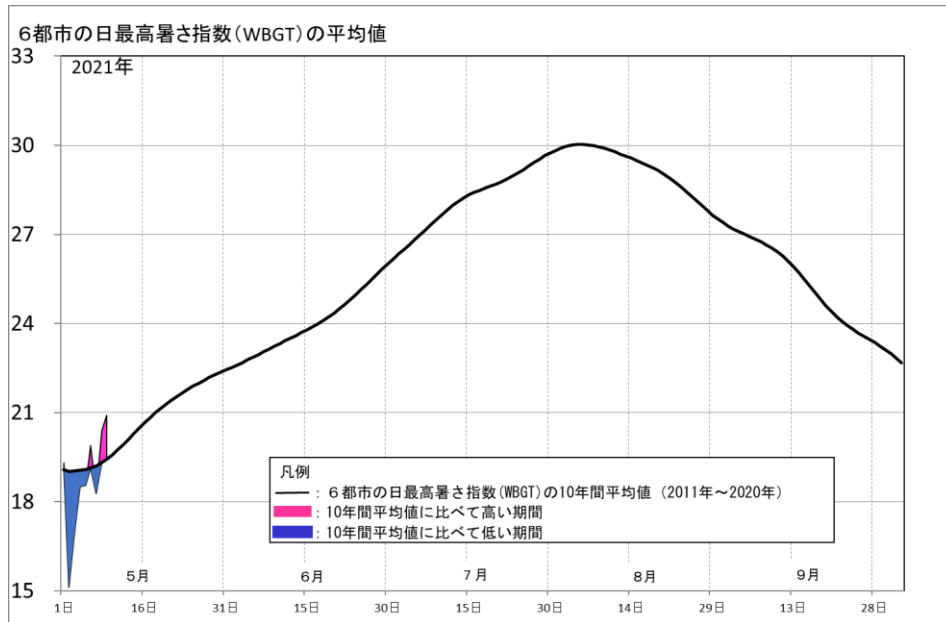


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(4月28日～5月9日)(注3)

月/日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市の平均
4月												
26	6.3	10.6	9.7	12.3	14.5	13.6	14.3	14.8	16.8	18.2	23.5	13.5
27	11.6	10.9	12.6	18.1	18.9	17.1	17.2	18.9	18.7	20.6	23.0	17.1
28	10.8	16.6	15.5	20.8	18.0	18.6	16.8	19.7	19.2	20.0	25.3	18.2
29	13.7	14.0	14.4	18.9	17.6	16.4	17.3	16.6	20.5	17.5	24.0	17.5
30	8.3	16.6	15.7	21.5	20.4	18.9	18.7	21.0	19.9	22.2	24.6	19.2
5月												
1	8.6	15.7	16.9	20.3	19.5	21.2	19.0	22.7	18.9	23.5	27.6	19.3
2	7.3	15.5	13.3	20.2	14.5	14.7	14.2	15.1	13.9	15.6	24.0	15.1
3	8.8	13.7	14.8	18.1	16.7	15.7	17.2	18.0	19.2	18.2	22.3	17.0
4	10.6	16.8	16.5	19.3	19.7	18.6	18.3	22.2	18.7	20.8	24.4	18.5
5	13.4	16.7	15.2	19.4	17.5	17.3	21.2	19.3	20.7	22.8	26.7	18.6
6	15.4	19.6	18.7	22.4	20.4	20.2	17.4	20.6	20.2	22.5	28.0	19.9
7	15.5	17.7	19.1	18.9	16.1	17.0	17.0	18.2	21.6	18.9	28.4	18.3
8	16.0	20.0	18.7	24.4	20.5	20.0	19.0	20.6	19.8	22.6	28.8	20.4
9	15.4	19.8	16.4	24.2	23.1	21.4	19.6	22.5	20.8	24.6	28.3	20.9

(注1) 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

(注2) 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

(注3) 表1、表2の値は速報値であり、年末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の4月28日～5月9日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
25以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56

21℃未満	21℃以上25℃未満	25℃以上28℃未満	28℃以上31℃未満	31℃以上
-------	------------	------------	------------	-------

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

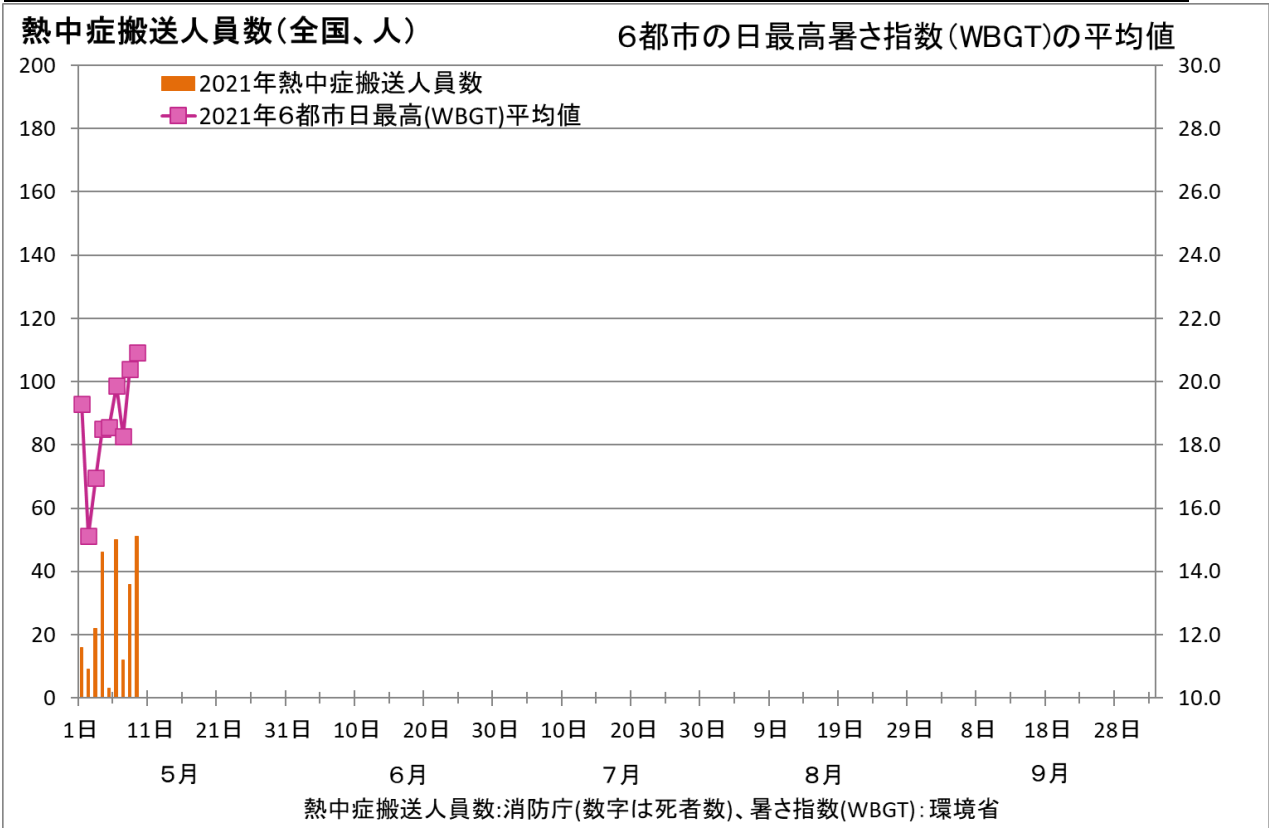


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

4月28日から5月9日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、常に「ほぼ安全」を示す21未満となりました(表1、図1)。消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、5月9日の51名が最高で、この期間の総数は285人(死者は無し)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

4月28日から5月9日までの全国の熱中症警戒アラート発表状況をお知らせします。この期間の熱中症警戒アラートの発表はありません（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（4月28日から5月9日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美		沖縄
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0		0
のべ回数	0	0	0	0		0

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

5月11日夕方に翌12日を対象として、沖縄（八重山地方）へ熱中症警戒アラートが発表されました。5月14日までは、東北地方以南では「注意」を示す21以上、九州地方以南及び小笠原諸島では「警戒」を示す25以上、沖縄地方及では「厳重警戒」を示す28以上となる地点が多く、特に沖縄地方は「危険」を示す31以上となる地点もある見込みです。

気象庁の週間天気予報（5月12日発表、予報期間：5月13日～5月19日）によると、「最高気温と最低気温はともに、全国的に平年並か平年より高い日が多く、平年よりかなり高い所もあるでしょう。」となっております。

○低気圧等の影響で湿度が上がる日には暑さ指数(WBGT)が上昇することがあります。引き続き熱中症にお気を付け下さい。

